

様式第2号の1－②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1－①を用いること。

学校名	中部リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人珪山学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
専門課程	理学療法学科 1部	夜・通信	8 3	1 0	
	理学療法学科 2部	夜・通信	3 3	7	
	言語聴覚学科	夜・通信	9 3	1 0	
	義肢装具学科	夜・通信	9 8	1 0	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

校内閲覧・新入生配布資料

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	中部リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人珪山学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

役員等名簿の閲覧請求者に対して閲覧又は交付

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医療法人理事長 (医師)	R8.3.26～ R11 年度定時評議員 会まで	学校運営の円滑化
非常勤	会社役員 (公認会計士)	R8.3.26～ R11 年度定時評議員 会まで	法人財務のチェック機能
(備考) 任期終期は寄附行為の定め「選任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで」による。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	中部リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人珪山学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 例年1月に次年度の授業担当者を決定する。 カリキュラム・ポリシーをもとに、すべての授業担当者が現行の授業計画書(シラバス)を確認し、次年度に向けた授業計画を考え、修正する。 全授業科目の授業計画を取りまとめ、開講年度の4月に配布。 なお、授業計画書(シラバス)は共通のフォーマットを利用しており、記載内容は以下の通りである。 科目名、担当者教員名、科目区分、学年、単位数(時間数)、履修時期、授業概要、学生が達成すべき目標、授業内容(回数)、授業形態(学習方法)、授業形態(学習資源)、授業準備等の内容、教科書、参考書、評価方法・評価の割合。	
授業計画書の公表方法	校内閲覧、新入生配布
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 授業計画に記載された成績評価の方法により評価を行い、単位認定を行っている。 出席日数の三分の二以上出席、60点以上の得点を合格とする。60点未満の場合は、再試験を実施する。再試験が60点以上であれば、合格として単位取得を認め、たとえ再試験で60点以上の点であっても、この科目の成績は60点とする。 また、再試験60点未満の場合は、再々試験を実施する。再々試験が60点以上であれば、合格として単位取得を認め、たとえ再々試験で60点以上の点であっても、この科目の成績は60点とする。 実習科目では出席状況、実習の成果、実技試験やレポート課題の成果で評価するものもある。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 各授業科目の成績はすべて 100 点満点の点数で示される。 学生が履修した全科目の平均点と、その平均点の学科内順位を成績評価の客観的指標として用いる。 個々の学生には、履修した全科目の点数とその平均点、全科目平均点の学科内順位を成績表として配布するとともに保護者に送付している。 前期末（8 月）と後期末（3 月）に全学生の成績を把握・検討している。 成績不良者に対して、本人と保護者に文書で通知し、個別指導を行っている。 後期末（3 月）には進級判定会議を行い本人と保護者に文書にて通知し、面談等も行っている。 (1) A 80 点～100 点 (2) B 70 点～79 点 (3) C 60 点～69 点 (4) D 59 点以下（不合格） (5) N 単位認定科目	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	新入生配布、校内閲覧
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業の認定方針…授業科目、単位の取得及び在籍期間6年以内であること。 認定の方法…卒業認定会議をへて学校長が決定。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	新入生配布、校内閲覧

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	中部リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人珪山学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校法人事務局にて閲覧
収支計算書又は損益計算書	学校法人事務局にて閲覧
財産目録	学校法人事務局にて閲覧
事業報告書	学校法人事務局にて閲覧
監事による監査報告（書）	学校法人事務局にて閲覧

2. 教育活動に係る情報

① 学科等の情報（その1：理学療法学科 昼間）

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
医療		専門	理学療法学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単 位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	117	64	14	38		1
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		110 人	0 人	6 人	60 人	66 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 講義方法は専門講師が臨床経験なども踏まえ座学で行う。 演習、実習及び実技では、臨床経験等も踏まえ評価・治療技術を指導している。 年間カリキュラムは、学生に新学期に配布している。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業計画に記載された成績評価の方法により評価を行い、単位認定を行っている。出席日数の三分の二以上出席、60点以上の得点を合格とする。 再試験、再々試験も実施している。
卒業・進級の認定基準

(概要) 卒業・進級の認定方針は成績評価をふまえ、授業科目、単位の取得及び在籍期間6年以内であること。 認定の方法は進級判定会議を経て学校長が決定。			
学修支援等			
(概要) 成績不良者等には面談を実施し、必要に応じて補習等の支援を行う。 保護者と連絡を密に取り、学生の学校生活の状況を共有するようにしている。			
卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
28人 （100%）	0人 （ 0%）	28人 （ 100%）	0人 （ 0%）
(主な就職、業界等) 病院、診療所などの医療分野 介護老人保健施設などの福祉分野			
(就職指導内容) 就職支援、履歴書等提出物の確認			
(主な学修成果（資格・検定等）) 理学療法士国家試験受験資格			
中途退学の現状			
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数		中退率
110人	2人		2%
(中途退学の主な理由) 進路変更			
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的に個人面談を実施し、必要に応じて様々なサポートを行っている。			

① 学科等の情報(その2 理学療法学科 夜間)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
医療		専門	理学療法学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
4 年	夜	116	63	14	38	1
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人		13 人	0 人	2 人	25 人	27 人
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）						
（概要） 講義方法は専門講師が臨床経験なども踏まえ座学で行う。 演習、実習及び実技では、臨床経験等も踏まえ評価・治療技術を指導している。 年間カリキュラムは、学生に新学期に配布している。						
成績評価の基準・方法						
（概要） 授業計画に記載された成績評価の方法により評価を行い、単位認定を行っている。出席日数の三分の二以上出席、60点以上の得点を合格とする。 再試験、再々試験も実施している。						
卒業・進級の認定基準						
（概要） 卒業・進級の認定方針は成績評価をふまえ、授業科目、単位の取得及び在籍期間6年以内であること。 認定の方法は進級判定会議を経て学校長が決定。						
学修支援等						
（概要） 成績不良者等には面談を実施し、必要に応じて補習等の支援を行う。 保護者と連絡を密に取り、学生の学校生活の状況を共有するようにしている。						
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）						
卒業生数		進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他		
25 人 （100%）		0 人 （ 0%）	25 人 （100%）	0 人 （ 0%）		
（主な就職、業界等） 病院、診療所などの医療分野 介護老人保健施設などの福祉分野						
（就職指導内容） 就職支援、履歴書等提出物の確認						

(主な学修成果（資格・検定等）) 理学療法士国家試験受験資格		
中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13 人	1 人	8%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的に個人面談を実施し、必要に応じて様々なサポートを行っている。		

① 学科等の情報（その３ 言語聴覚学科）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門	言語聴覚学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単 位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	130	100	14	16		
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		89人	0人	5人	64人	69人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要） 講義方法は専門講師が臨床経験なども踏まえ座学で行う。 演習及び実習では、臨床経験等も踏まえ評価・治療技術を指導している。 年間カリキュラムは、学生に新学期に配布している。			
成績評価の基準・方法			
（概要） 授業計画に記載された成績評価の方法により評価を行い、単位認定を行っている。出席日数の三分の二以上出席、60点以上の得点を合格とする。 再試験、再々試験も実施している。			
卒業・進級の認定基準			
（概要） 卒業・進級の認定方針は成績評価をふまえ、授業科目、単位の取得及び在籍期間6年以内であること。 認定の方法は進級判定会議を経て学校長が決定。			
学修支援等			
（概要） 成績不良者等には面談を実施し、必要に応じて補習等の支援を行う。 保護者と連絡を密に取り、学生の学校生活の状況を共有するようにしている。			
卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20人 （100%）	0人 （ %）	16人 （ 80%）	4人 （ 20%）
（主な就職、業界等） 病院、診療所などの医療分野 介護老人保健施設などの福祉分野			
（就職指導内容） 就職支援、履歴書等提出物の確認			

(主な学修成果（資格・検定等）) 言語聴覚士国家試験受験資格		
(備考) (任意記載事項)		
中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
80 人	3 人	4%
(中途退学の主な理由) 体調不良、成績不振による意欲低下		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的に個人面談を実施し、必要に応じて様々なサポートを行っている。		

① 学科等の情報（その4 義肢装具学科）

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
医療		専門		義肢装具学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単 位数	開設している授業の種類						
			講義	演習	実習	実験	実技		
3 年	昼	132	88	2	41			1	
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
90 人		50 人	0 人	6 人	37 人	43 人			
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）									
（概要） 講義方法は専門講師が臨床経験なども踏まえ座学で行う。 演習、実習及び実技では、臨床経験等も踏まえ評価・治療技術を指導している。 年間カリキュラムは、学生に新学期に配布している。									
成績評価の基準・方法									
（概要） 授業計画に記載された成績評価の方法により評価を行い、単位認定を行っている。出席日数の三分の二以上出席、60点以上の得点を合格とする。 再試験、再々試験も実施している。									
卒業・進級の認定基準									
（概要） 卒業・進級の認定方針は成績評価をふまえ、授業科目、単位の取得及び在籍期間6年以内であること。 認定の方法は進級判定会議を経て学校長が決定。									
学修支援等									
（概要） 成績不良者等には面談を実施し、必要に応じて補習等の支援を行う。 保護者と連絡を密に取り、学生の学校生活の状況を共有するようにしている。									
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）									
卒業生数		進学者数		就職者数 （自営業を含む。）		その他			
6 人 （100%）		0 人 （ 0%）		6 人 （100%）		0 人 （ 0%）			
（主な就職、業界等） 義肢装具製作会社 義肢装具関連施設									

(就職指導内容) 就職支援、履歴書等提出物の確認		
(主な学修成果（資格・検定等）) 義肢装具士国家試験受験資格		
中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
43 人	2 人	5%
(中途退学の主な理由) 成績不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的に個人面談を実施し、必要に応じて様々なサポートを行っている。		

② 学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理学療法学科 1部	300,000 円	700,000 円	600,000 円	
理学療法学科 2部	200,000 円	550,000 円	450,000 円	
言語聴覚学科	300,000 円	700,000 円	400,000 円	
義肢装具学科	250,000 円	900,000 円	730,000 円	

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 実施後HP (https://chureha.kzan.jp/) で公表		
第三者評価の基本方針(実施方法・体制) 学校から独立した第三者評価に関する専門的な知見や実施経験を有する評価機関に依頼。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
一般社団法人 リハビリテーション 教育評価機構	3年	
第三者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 実施後HP (https://chureha.kzan.jp/) で公表		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://chureha.kzan.jp/
--